

# 熊本市上下水道事業経営戦略(改定版・素案)等 における検証指標の修正について

令和7年2月



**熊本市上下水道局**

Kumamoto City Waterworks and Sewerage Bureau

# 熊本市上下水道事業経営戦略中期実施計画(素案)

経営戦略では、基本方針及び具体的取組の進捗状況等を把握するため、毎年度の指標値(目標値)を設定することで、目指す将来像の達成度をわかりやすく「見える化」しています。

今回、以下の理由により指標値を変更する必要が生じたため、報告するものです。

**変更理由** 経営戦略と同時並行で策定作業を進めていた整備計画について、事業内容や各工事における施工年次等の調整のため、各年度の整備延長等の変更を行ったことから、経営戦略とも整合を図るため指標値の修正を行うもの。

## 基本方針1.適切な維持管理と計画的な整備

取組3 上下水道施設等の改築更新と整備

水道管路の更新延長	
算出方法	経営戦略計画期間内(R2~R13)に実施する水道管路の更新延長(累計)
指標の解説	水道の安定供給のために取り組んでいる、老朽化した水道管路の更新状況を示します。 ※S54~H30にかけて、事業計画に位置付けて延べ468kmの管路を更新しています
水運用機能強化のための新設管路延長	
算出方法	第6次拡張事業(H22~R10)で実施する機能強化管路の新設延長(累計)
指標の解説	熊本市全体の水運用機能の強化として取り組んでいる水融通管や補給管について、整備の進捗状況を示します。

### 変更前

	基準値(R5)	R7	R8	R9
km	55.3	70.0	79.5	89.0

### 変更後

	R7	R8	R9
	73.8	80.9	91.3

	基準値(R5)	R7	R8	R9
km	112.8	121.8	126.6	131.4

	R7	R8	R9
	122.1	123.8	128.5

## 基本方針2.災害に強い上下水道の確立

取組4 耐震化の推進

耐震適合性のある基幹管路の割合(水道)	
算出方法	(基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長)×100
指標の解説	水道の基幹管路の延長に対する耐震適合性を有する管路の割合を表すもので、地震災害に対する水道管路網の安全性や信頼性を表します。 ※地盤の強度等や耐震化の状況を考慮し、耐震適合性の有無を判断します
水道管路の耐震管率	
算出方法	(耐震管延長/水道管路総延長)×100
指標の解説	導・送・配水管(配水管含む)など全ての水道管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すもので、地震災害に対する水道管路網の安全性や信頼性を表します。

	基準値(R5)	R7	R8	R9
%	80.7	81.4	82.1	82.8

	R7	R8	R9
	81.4	82.3	83.2

	基準値(R5)	R7	R8	R9
%	32.0	32.7	33.1	33.5

	R7	R8	R9
	32.7	32.9	33.3

## 第4章 理念・目指す将来像と基本方針

### 4-5 検証指標

#### 変更箇所

5 耐震適合性のある基幹管路の割合 検証値(R9) 81.4%⇒**83.2%**、検証値(R13) 85.6%⇒**85.9%**  
 9 水洗化率 検証値(R9) 97.51%⇒**97.81%**

基本方針	検証指標名	基準値 (R5・2023)	検証値 (R9・2027)	検証値 (R13・2031)
1. 適切な維持管理と計画的な整備	1 水道水の水質基準達成率	100%	100%	100%
	2 有効率(水道)	90.0%	94.0%	95.3%
	3 取水井戸の更新箇所数(期間内累計)	7箇所	17箇所	25箇所
	4 公共下水道普及率	91.0%	91.8%	92.6%
2. 災害に強い上下水道の確立	5 耐震適合性のある基幹管路の割合	80.7%	81.4%	85.6%
	6 浸水対策重点地区の実施面積(累計)	690.5ha	901.4ha	1,403.6ha
	7 マンホールトイレの整備基数(累計)	390基	590基	640基 [R10事業完了]
3. 水循環の保全	8 取水量に対する地下水かん養量の割合	18.0%	20.0%	20.0%以上
	9 水洗化率	97.62%	97.51%	98.05%
4. 資源・エネルギーの循環促進	10 再生可能エネルギー発電量	12,273千kWh	13,900千kWh以上	13,900千kWh以上
5. お客さまの視点に立ったサービス提供	11 情報提供満足度	40.3%	47.2%	50.0%
	12 電子申請の利用件数	22,723件	31,600件	40,400件
6. お客さまから信頼される職員の育成	13 若手職員の研修受講率(年10回以上)	92.7%	94.4%	100%
	14 内部講師の養成数	4人/年	2人/年	2人/年
7. 財政見通しに基づく事業経営	15 企業債残高(水道)	295億円	347億円	368億円
	16 企業債残高(下水道)	1,287億円	1,290億円	1,353億円
8. 経営基盤の強化	17 水道事業会計純損益	24.6億円	黒字	黒字
	18 下水道事業会計純損益	19.8億円	黒字	黒字



基本方針	検証指標名	基準値 (R5・2023)	検証値 (R9・2027)	検証値 (R13・2031)
1. 適切な維持管理と計画的な整備	1 水道水の水質基準達成率	100%	100%	100%
	2 有効率(水道)	90.0%	94.0%	95.3%
	3 取水井戸の更新箇所数(期間内累計)	7箇所	17箇所	25箇所
	4 公共下水道普及率	91.0%	91.8%	92.6%
2. 災害に強い上下水道の確立	5 耐震適合性のある基幹管路の割合	80.7%	83.2%	85.9%
	6 浸水対策重点地区の実施面積(累計)	690.5ha	901.4ha	1,403.6ha
	7 マンホールトイレの整備基数(累計)	390基	590基	640基 [R10事業完了]
3. 水循環の保全	8 取水量に対する地下水かん養量の割合	18.0%	20.0%	20.0%以上
	9 水洗化率	97.62%	97.81%	98.05%
4. 資源・エネルギーの循環促進	10 再生可能エネルギー発電量	12,273千kWh	13,900千kWh以上	13,900千kWh以上
5. お客さまの視点に立ったサービス提供	11 情報提供満足度	40.3%	47.2%	50.0%
	12 電子申請の利用件数	22,723件	31,600件	40,400件
6. お客さまから信頼される職員の育成	13 若手職員の研修受講率(年10回以上)	92.7%	94.4%	100%
	14 内部講師の養成数	4人/年	2人/年	2人/年
7. 財政見通しに基づく事業経営	15 企業債残高(水道)	295億円	347億円	368億円
	16 企業債残高(下水道)	1,287億円	1,290億円	1,353億円
8. 経営基盤の強化	17 水道事業会計純損益	24.6億円	黒字	黒字
	18 下水道事業会計純損益	19.8億円	黒字	黒字